

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

組立・施工の前に...

商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については、必ず本説明書に従ってください。

チェックシート

取付時、本文中に表示している「**チェックマーク**」の確認をしてください。

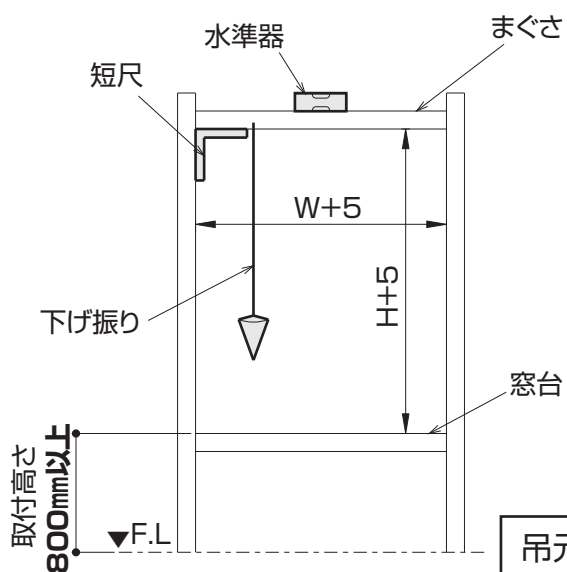
項目	チェック欄
① 取付開口部の確認をしましたか？	
② ねじを止める箇所にスペーサを入れましたか？	
③ 枠取付け時にトルク調整をしましたか？	
④ 上ピボットヒンジが確実に取付いたか確認しましたか？	

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

お願い

- 組立は所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は事故の原因になります。
- 取付開口部の水平・垂直・対角寸法およびねじれのないことを確認してください。取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- 造作材、建具枠の下地材には必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材、建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材、建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 室内の壁面等を漆喰などの湿式工法で仕上げる際も、同様に防水処理が必要です。
- 施工完了後、説明書の調整方法通り、調整が行われていることを確認してください。
調整不良は操作不良や異常音の原因になります。

開口部の確認



開口寸法は商品W、H寸法より5mm大きく設定(クリアランス分)

吊元側の間柱は、105×45mm以上のものを使用してください。

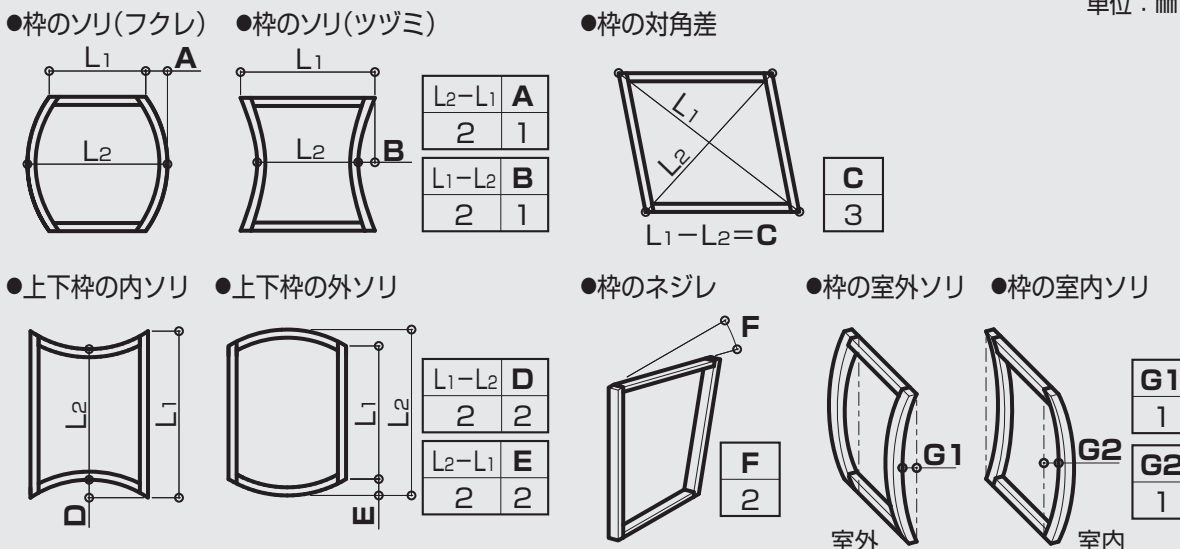
注意

取付高さは、転落の危険性などを考慮し、床から800mm以上としてください。

枠取付精度

枠取付精度が下記寸法以下になっているか確認し調整してください。
下記寸法を超えると外観上のチリ寸法不一致、明かり漏れ、開閉・走行の不具合など商品本来の性能が発揮されません。

単位：mm



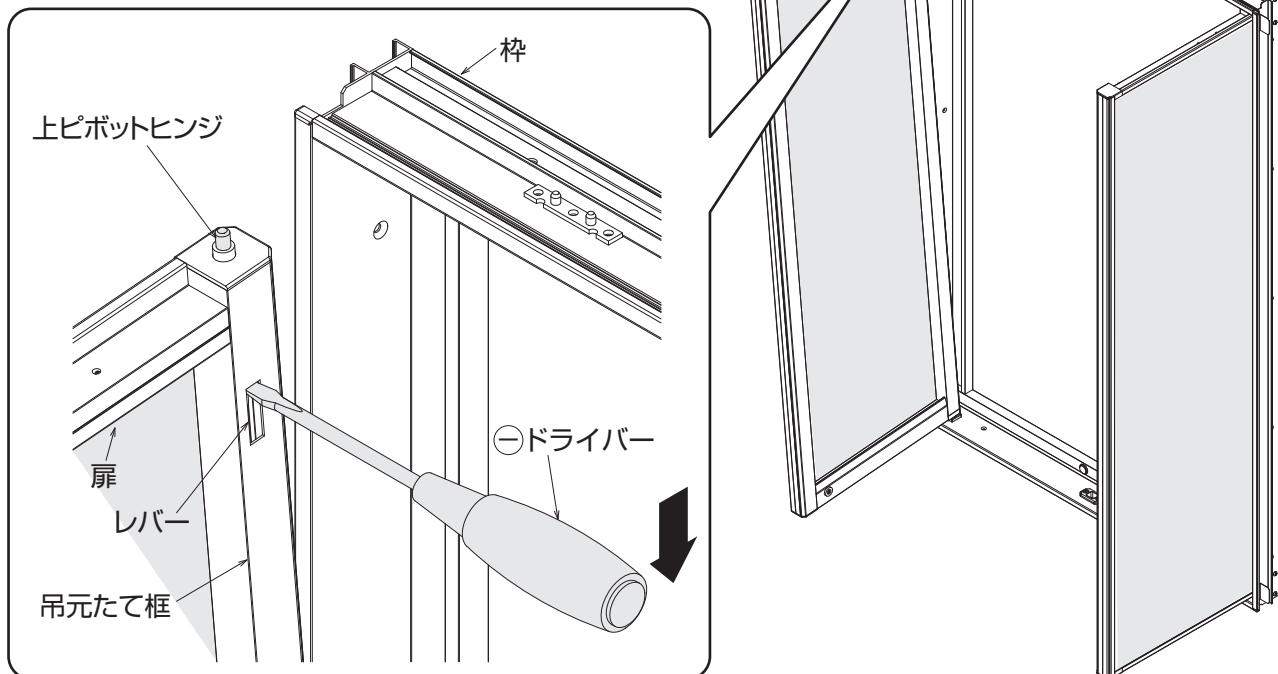
同梱部品一覧

番号	①	②
姿図		
品名	穴隠しキャップ	丸皿木ねじ (φ3.8×40)
品番	2K-34760	WO-3840
個数	片開き窓 1 両開き窓 2	6~12 8~16
備考		枠取付用

番号	③	④
姿図		
品名	スライドアーム	皿タッピンねじ (φ4×10)
品番	5K-11047	EF-4010D7
個数	片開き窓 1 両開き窓 2	4 8
備考		スライドアーム取付用

1. 扉の取りはずし

扉は枠に吊り込まれた状態となっております。
施工の際は、一旦扉を取りはずしてください。
吊元たて枠上部にある穴に⊖ドライバー入れ、
上ピボットヒンジのレバーを下げることで軸が
下がり、扉ははずすことができます。



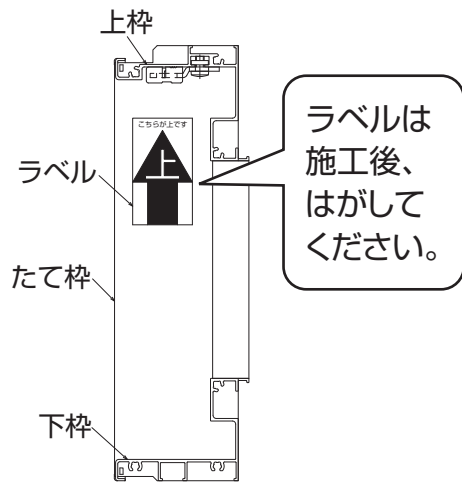
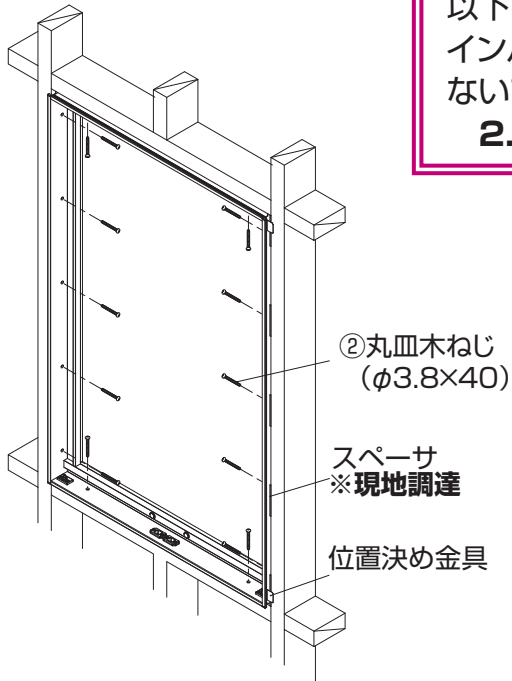
- 1 左右たて枠の(仮)固定
- 2 枠と柱のチリ調整
- 3 スペースを入れ固定

注意

丸皿木ねじの締め付けトルクは以下を目安に設定してください。インパクトドライバーは使用しないでください。

2.0N・m(20kgf・cm)程度

チェック③



ポイント

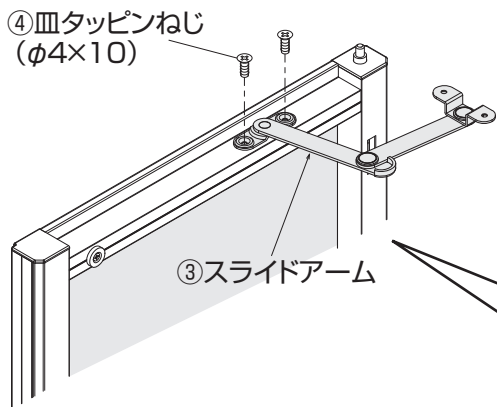
- 枠の上下を識別するために、たて枠にはラベルが貼ってあります。
- たて枠の端部に付いた位置決め金具により見込み方向の位置を決めてください。
※対応ボード厚：9.5～12.5mm
- ねじ止め箇所へは枠の反り、フクレ発生防止のため**必ずスペースを入れてください。**

チェック②

参考(内外クロス巻き込みの場合)

3. スライドアームの取付

障子上部へスライドアームを取付けてください。



ポイント

向きを確認してください。

枠側取付座

障子側取付座

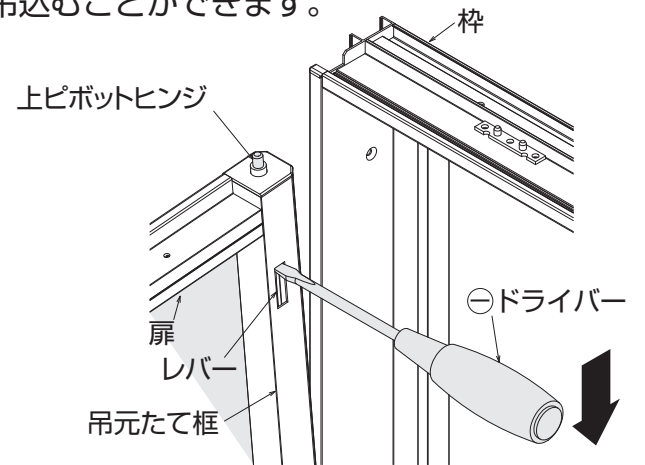
④皿タッピンねじ (φ4×10)

戸先

吊元

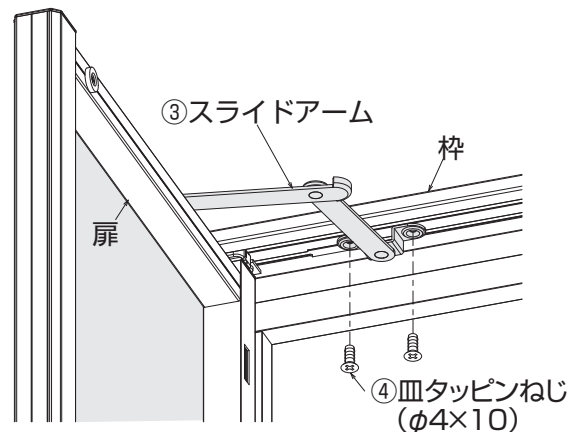
4. 扉の吊込み

吊元たて枠上部にある穴に⊖ドライバーを入れ、上ピボットヒンジのレバーを下げることで軸が下がり、扉を吊込むことができます。



5. スライドアームの連結

スライドアーム枠側の取付座を上枠の穴位置に合わせてねじで連結してください。



注意

上ピボットヒンジが確実に取付いたことを確認してください。確実に取付いていないと扉が落下する危険があります。

上枠

上ピボットヒンジ

窓

チェック④

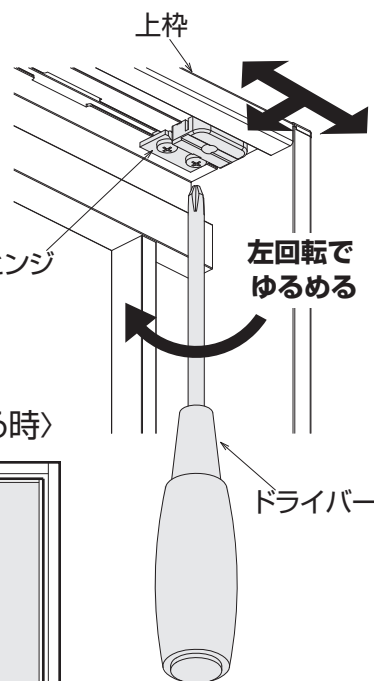
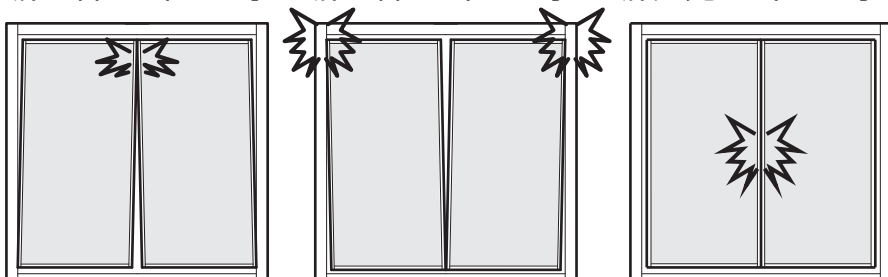
6. 建付調整



調整する時、「1.扉の取りはずし」を行ってから調整をしてください。工場組立時には枠・障子のチリ調整が行われて出荷されます。

左右の調整(後側に2mmまで移動可能)

〈扉上部が当たる時〉 〈扉上部が当たる時〉 〈扉戸先が当たる時〉



7. 穴隠しキャップの取付

吊元たて枠上部にある穴に押し込んでください。

